セミオート追尾卓

ML-FST8 操作マニュアル

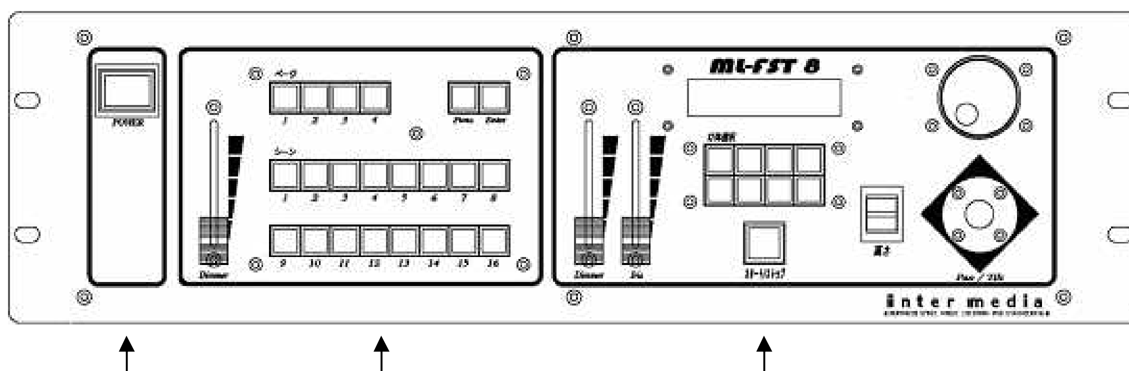
（Kスポットムーブ用）

Inter media

Software version 1.0

目　次

操作卓構成



①　②　③

１．電源スイッチ

本操作卓の電源のオン／オフをします。

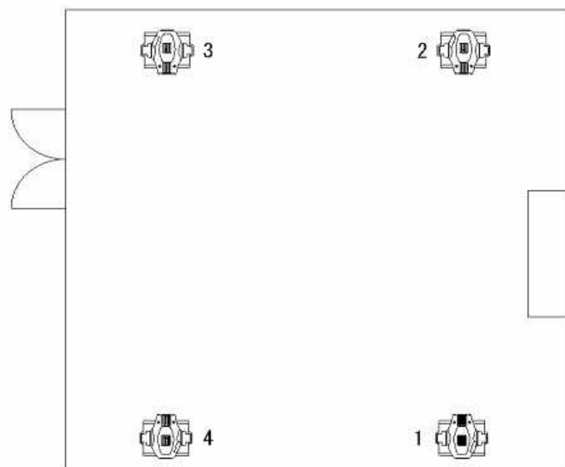
２．シーン再生部

ページ・・・・1～　４のページ選択スイッチ
シーン・・・・1～１６のシーン選択スイッチ
Dimmer・・・・シーン再生時のアイリスを制御します。

３．セミオート追尾、１灯マニュアル操作部

追尾時のアイリスを制御します。
追尾のオン／オフをします。
追尾時の光の交点の高さを設定します。
ジョイスティックで追尾位置を移動させます。
１灯マニュアル追尾の操作をします。

灯体の位置と番号（例）



※　追尾操作時の基準灯体は１番のスポットと成り、他のスポットは基準スポットを追従します。

シーン再生方法

電源立上げ時は記憶されているページ１・シーン１のデータが再生されます。

- ページスイッチとシーンスイッチで入力されたデータが再生されます。
- アイリスフェーダーでビームサイズを可変することが出来ます。
- ４ページ×１６シーンで６４シーン記憶出来ます。

１灯マニュアル操作方法

１灯マニュアル操作とは、選択した灯体を１灯だけジョイスティックで操作出来ます。

- マニュアル操作したい灯体を灯体選択スイッチで選択します。
- ジョイスティックで選択した灯体を動作させてください。
  ※ジョイスティックの倒す角度とスピードは連動しています。
- 灯体選択スイッチを解除すると自動的にシーン再生に戻ります。

セミオート追尾操作方法

追尾操作はジョイスティック追尾とカメラ追尾の２種類が有り、事前にどちらかの操作方法が設定されています。
どちらの操作方法を選択するかはご相談下さい。

※　追尾操作は全ての灯体が追尾状態に成り、灯体を選択することは出来ません。
※　追尾操作はスポットの中心が床面から２m以上では操作が出来ません。

ジョイスティック追尾とは、ジョイスティックを上下に倒せば部屋の縦方向、横に倒せば部屋の横方向に光の交点が移動します。

- 「ｽﾀｰﾄ/ｽﾄｯﾌﾟ」ボタンを押してジョイスティック追尾をスタートさせます。
- ジョイスティックを操作して追尾操作を行います。
- 「ｽﾀｰﾄ/ｽﾄｯﾌﾟ」ボタンを再度押すとジョイスティック追尾は解除されます。
- 「高さ」レバーで光の交点の高さを変更することが出来ます。
  液晶モジュールに「　Ｊz：150　」の様に表示されます。
- ディマーフェーダでアイリスの開閉を行います。

※　ジョイスティック追尾スタート時の光の交点位置は１番灯体の位置が基準になります。

カメラ追尾とは、１番の灯体から見てスポットの上下がジョイステックの上下に、スポットの左右がジョイスティックの左右に連動します。(灯体にオプションでカメラを搭載している場合はジョイスティックで動かすとカメラモニター中央の位置に光の交点が来るようになっています。)

- 「ｽﾀｰﾄ/ｽﾄｯﾌﾟ」ボタンを押してカメラ追尾をスタートさせます。
- ジョイスティックを操作して追尾操作を行います。
- 「ｽﾀｰﾄ/ｽﾄｯﾌﾟ」ボタンを再度押すとカメラ追尾は解除されます。
- 「高さ」レバーで光の交点の高さを変更することが出来ます。
  液晶モジュールに「　Cz：150　」の様に表示されます。
- ディマーフェーダでアイリスの開閉を行います。

基準灯体が追尾エリア外になった場合、液晶モジュールに「　Cz： --」の様に表示が出ます。
この時は、追尾操作は動作できません。
カメラ灯体が追尾エリア内にある状態でカ追尾操作をスタートさせて下さい。

ファンクション選択

1. 「Func」スイッチを押して、ジョグダイアルを回して FUNCTION を選択します。
2. 「Enter」スイッチでそのモードに入ります。
3. 「Func」スイッチを再度押すと解除されます。

FUNCTION　1　スポットシュウセイ

※灯体の位置データを修正します。

1. ファンクション選択で「スポットシュウセイ」を選択します。

```
FUNC　1
スポット　シュウセイ
```

2. 「Enter」を押します
   液晶モニターに下記の様に表示されます。

```
スポット　シュウセイ
シーン No.
```

3. エンコーダーを回して修正したいシーン番号を選択します。

4. 灯体選択スイッチで修正したい灯体を選択します。
   ※複数の灯体を選択すると最初に選択された灯体のデータがコピーされます。
   もし間違えた場合は「Func」スイッチを押して解除してもう一度最初から行って下さい。

5. 位置修正はジョイスティックで行って下さい。
   フォーカスは高さレバースイッチで修正してください。
   ビームサイズは Dimmer フェーダーで修正してください。

6. 修正作業が終了して記憶したい場合は「Enter」スイッチを押して下さい。
   また記憶したくない場合「Func」スイッチを押して解除して下さい。